

JET プログラム外国語指導助手（JET-ALT）活動事例集作成  
ワーキンググループ（第1回）  
議事概要

- (1) 事務局より開会挨拶
- (2) 各構成員より自己紹介
- (3) 議事進行の方法の決定
- ・ 座長を置かないことで構成員の合意を得た。
- (4) 事務局より資料について説明
- (5) 意見交換

「JET プログラム外国語指導助手（JET-ALT）活動事例集」（仮称）の作成について、意見交換を行った。要旨は以下のとおり。

○ 事例集の掲載項目・掲載すべき事例

- ・ JET-ALT の積極的な任用や活用を促進するためであれば、任用団体に加えて、これから任用を検討している団体等、幅広く国際交流に携わる関係者を読者として想定してはどうか。
- ・ 熱意のある JET-ALT 本人からの事例応募も可能にしてはどうか。
- ・ 外国語教育の充実等に資する事例では、学校現場の ICT 化が進む中で、ICT の活用とともに ALT を上手く活用している事例も掲載してはどうか。
- ・ 全国的に配置が可能な点が JET-ALT の特長の一つであるため、山間地、へき地、島嶼部などにおける活用事例も掲載してはどうか。
- ・ すでに一定の成果を上げている優良事例の横展開が重要である一方で、JET-ALT の活用を始めて間もない団体におけるプラスの変化など、一定のアウトカムを上げる前の段階の事例も掲載した方が、これから任用を検討している団体の参考になるのではないか。
- ・ 学校現場の教員が参考にして取り入れることができるような活動事例を掲載してはどうか。
- ・ 今回の事例集は、2007 年の JET 活用マニュアルとは異なり、あくまで JET-ALT の活動事例を掲載することを目的としているため、教員向けのマニュアルとは一線を画すべきだとは思いますが、その趣旨に反しない限りでは、現場が参考にできる JET-ALT ならではの活動事例を掲載できるのではないか。

## ○ 調査・事例選定の進め方

- ・ 各都道府県・政令市から、外国語教育の充実等に資する事例と地域の国際化に資する事例の各事例につき少なくとも1つ以上応募してもらうことにすると、応募事例は計120以上になるが、類似する事例の応募があることや、事例集としての見やすさ、使いやすさを考慮すると、最終的な掲載事例は半数程度に絞られるのではないか。

## ○ 事例選定の視点

- ・ 効果的という視点については、一定のアウトカムが上がっているか否かに着目するだけでなく、JET-ALTの活用を始めたことでどのようなプラスの変化があったかも含めて、効果として捉えるべきではないか。
- ・ JET-ALTが外国語の授業以外も含めた学校全体の国際化の取組に参加している事例など、学校におけるJET-ALTと教員等との協働という視点を加えてはどうか。
- ・ これからJET-ALTに応募する外国青年に、JET-ALTのやりがいや伝わるような事例を選定すべきではないか。
- ・ 過去の事例で今はやっていないものについては、どれくらい前のものであれば掲載するのか、時期の目安が必要ではないか。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により休止していた事例は掲載すべきだが、過去いつまでの事例を掲載するか、一律に時期で区切ることは困難であるため、事例の実施時期を含めて照会した上で、個別に対応するという事ではないか。
- ・ 学校内の活動事例と、学校外の地域における活動事例とをバランス良く選定すべきではないか。
- ・ 学校においてJET-ALTに期待されている役割がわかる事例を掲載するなど、学校現場の視点も加えてはどうか。

## ○ 推薦事例等

- ・ もし掲載すべき優良事例があれば、自治体への事例照会期間中に事務局に推薦することとしたい。